

会議速報

開催概要

- 名称：平成29年度第1回新潟市HACCP普及推進連絡協議会
- 日時：平成29年9月11日（月）午後1時30分から午後3時35分
- 場所：新潟市保健所 3-1会議室（新潟市総合保健医療センター3階）
- 出席委員：浦上委員，牧委員，村山委員，椎葉委員，中島委員，楠田委員
- 関連自治体（出席者名）
 - 新潟県福祉保健部生活衛生課（吉岡参事，岡田主任）
- 市役所関係課（出席者名）
 - ニューフードバレー特区課（相崎主幹）
 - 農業政策課（伊藤副主査）
- 事務局（出席者名）
 - 保健衛生部長井部長
 - 食の安全推進課（羽賀課長，石井課長補佐，齊藤係長，飛田係長，岡崎主査，齋藤主査，榎本主査，高野主査，平副主査，笠原薬剤師，小池薬剤師）
- 傍聴者 7名
- 報道関係者 0名

会議内容

1. HACCPを取り巻く国等の動向

資料1

厚生労働省が実施した「食品衛生管理の国際標準化に関する検討会最終とりまとめ」と食品衛生規制の見直しについて食の安全推進課より説明を行いました。

<主な意見・質問>

- HACCPで管理していく必要性も啓発していった方が良い。
- 営業許可について自治体間で温度差があるため，明確にさせていただけると助かる。

2. HACCP普及推進に関する政策等について

(1) 全体の取組み実績概要について

資料1

(2) 研修会・相談受付について

資料2, 資料3

平成29年度前半に新潟市で実施したHACCPの普及推進に関する実績と研修会・相談受付の実施内容について食の安全推進課より説明を行いました。

<主な意見・質問>

- 食のマーケットイン支援事業やフードメッセ等の展覧会など多方面の講習会・啓発事業等に組み込んでHACCPを啓発してはどうか。
- 社長向け講習会と応用研修会をセットでやってはどうか。
- トップが取り組みたいと思っても，実務の方の手が足りないという事業者も多いと思う。
- HACCPの導入が目的になっている人が多いが，そうではないので，HACCPの考え方を伝えていけたらよいと思う。

(3) 基準Bについて

資料1

平成29年度前半に新潟市で実施した基準B施設に対する実施内容について食の安全推進課より説明を行いました。

<主な意見・質問>

- ビジネスとしてやらないと立ちいかななくなるということを経済部や農水部からアプローチしてもらおうと思う。
- 導入していく上での利点等をストックしていき、生の声を聞ける機会を設けると効果的だと思う。
- 衛生管理を実施するための手順を示してほしい。

(4) 基準Aについて

資料1

平成29年度前半に新潟市で実施した基準A施設に対する導入支援等の実施内容について食の安全推進課より説明を行いました。

<主な意見・質問>

- 弁当屋では同時進行でいろいろなものを作っているため、タイムテーブルを起こさないと交差汚染の可能性があり、導入支援にならないと思う。
- マニュアル化のメリットがわかっていない事業者もいるが、マニュアル化することで計画性を持つことが出来るというのも一つのメリットである。

3. 今後のHACCPの普及推進に関する政策等について

資料2

平成29年度に新潟市で実施するHACCPの普及推進に関する今後のスケジュールについて食の安全推進課より説明を行いました。

<主な意見・質問>

- 昨年実績があるので引き続きやっていただけたらと思う。

4. その他

HACCPについては事業者と消費者の間の認識にギャップがあるが、消費者啓発として効果的なものについて意見を伺いました。

<主な意見>

- 一般衛生管理をやっていることを示す「五つ星事業」のようなマークを作り、選ぶ基準にしてもらってはどうか。

議事の詳細については、後日あらためて掲載いたします。